

# 平成19年度 県小教研 学習指導改善調査事業

研究実践協力校 十日町市立 吉田小学校

【所在地】 〒 948-0102 十日町市山谷 1958 TEL 025 (752) 2893  
【規模】 児童数 86名 学級数 7学級

## 1 改善事業の受け止め

吉田小学校は、86名の児童を「自信をもって表現できる子」に育てようとして取り組んでいます。本事業の趣旨でもある「考える力」（身に付いた知識や能力を活用できる力）の育成は、私たちの願いに迫る大きな一歩になると考えました。

そこで、平成19年度から研究実践協力校に加えさせていただき、校内研修と関連させて取り組むことにしました。

## 2 校内研修との関連

### <研究主題>

自分の考えや感じ方を大切にし、お互いに伝え合おうとする子どもの育成

### <目指す子ども像>

#### 低学年

自分の思いや考えを順序に気を付けたり、詳しく表したりしながら、進んで伝え合う子ども

#### 中学年

自分の思いや考えを筋道を立てたり、相手や目的に応じた適切な言葉を使ったりしてまとめ、進んで伝え合う子ども

#### 高学年

自分の思いや考えを筋道を立てたり、どのような言葉や手段で表現するのがふさわしいか判断したりしながら、分かりやすくまとめ、進んで伝え合う子ども

### <具体的な取組>

- ・「学習スキル」の定着（全教室への掲示と「振り返りカード」による自己評価）
- ・身近な題材やテーマの選定と体験活動の充実
- ・ソーシャルスキルトレーニングの活用
- ・「書く」活動の重視
- ・年間1回以上の授業公開

### ※「考える力」とのかかわり

上図の ~~~~~ 部分は、特に本事業のねらいとの関わりが深い内容と考えます。校内研修の推進を通して、「考える力」を伸ばしていきたいと考えます。

### 3 調査結果

【調査期日】 国語 平成19年7月9日 算数 平成19年7月11日

#### 【調査結果から、さらに伸ばしたい力】

学年 教科	国 語	算 数
四 学 年	<ul style="list-style-type: none"><li>資料を収集したり活用したりする力</li><li>基本的な文章構成力</li><li>総合や他教科と連携した「書く」力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>操作を筋道立てて説明する力</li><li>結果に至る意味や根拠を表現する力</li></ul>
五 学 年	<ul style="list-style-type: none"><li>資料を選択する力</li><li>立場を明確にして記述する力</li><li>字数を守って記述する力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>基準量をもとに説明する力</li><li>筋道を立てて説明する力</li></ul>
六 学 年	<ul style="list-style-type: none"><li>資料の内容を分析する力</li><li>立場や根拠を明確にした文を書く力</li><li>相手の問題点を挙げ反論を書く力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>立てた式に理由を付けて説明する力</li><li>公式を生かし解答を導く力</li></ul>

### 4 授業実践例

(1) 4年生「算数」 単元名 「面積」 授業者 川上 節夫 教諭

実施期日 平成19年11月27日

- 面積を求める多様な方法を考え、筋道を立て相手に分かりやすく伝える活動

(2) 5年生「国語」 単元名 「意見を交流しよう」 授業者 寺島 元子 教諭

～保育園との交流計画を立てよう～

実施期日 平成19年6月18日

- 明確にした自分の考えをカード等に記述することで、自信をもって紹介する活動

### 5 成果と課題

- 研究実践協力校として本事業に取り組んだことで、当校の校内研修を「考える力」という新たな視点からとらえ直すきっかけとなったことが成果です。
- 調査結果から明らかになった「伸ばしたい力」について、今後校内研修との関連をさらに深め、授業改善を通して児童に身に付けさせて行くことがこれからの課題です。